

# 津のまち紹介 久居



## ◆忠犬ハチ公

### ◇人と犬との感動ストーリー

飼い主の亡き後も渋谷駅で主の帰りを待ち続けた、けなげな犬「ハチ」。その一途な姿は人々の心を打ち、「忠犬ハチ公」の話は、いつしか広く知られることとなった。

東京渋谷区の渋谷駅前には、ハチの銅像が建ち、今ではここ待ち合わせする人も多い。

「渋谷ハチ公前」といえば今や全国的によく知られた待ち合わせスポットとなっている。

また、国立科学博物館（東京都台東区上野公園7-20）の日本館には、忠犬ハチ公のはく製が展示されている。

### ◇ハチの飼い主は久居出身!!

ところで、有名な「忠犬ハチ公」の飼い主が、久居出身ということとは、意外と知られていない。

ハチの飼い主は、東京帝国大学（現在の東京大学）教授の上野英三郎氏。その上野氏の出身地が津市久居元町だった。



### ◇上野博士とハチの銅像を

「忠犬ハチ公」は昨年夏、ハリウッド映画として公開。再び注目が集まる中、昨年12月有志が集まり、「上野英三郎博士とハチの銅像を建てる会」（村田和俊会長）を設立した。

早くから銅像建立構想を考えていたという多田滋郎顧問は、「ハチゆかりの地である渋谷、秋田県大館市、山形県鶴岡市にはハチの銅像が建っていますけれどもハチだけの銅像。人と動物との強い絆の話ですから、上野博士とハチとの銅像を博士の出身地である久居に建てたい。世界的映画となり、インパクトも強く、津市の観光事業にも寄与すると思います。津副都心構想に合わせ久居駅東に建て、地

域の活性化に繋げたい」と銅像建立への思いを話した。

アマチュア無線クラブ「つなぐ」や久居城下町案内人の会も賛同し、合流。今後は募金活動も含め、活発に活動を展開していくという。「激励文や銅像設立にと寄付を送ってきてくださる方など心強い応援に力をいただきます」と多田顧問。今後の活動に注目したい。

・同会事務局  
津市久居新町1103  
電話059(255)4355

## ◆久居のまつり



### ◇春の久居まつり

昨年、初めて開催した「春の久居まつり」。会場の二ノ町商店街周辺では、よさこい踊りやまちかど博物館、大かるた大会などが行われ、多くの人で賑わった。今年は4月3日（土）。雨天の場合は、翌日に順延。

### ◇サマーフェスティバル久居

毎年8月の第1土曜日に行われる「サマーフェスティバル久居」は、陸上自衛隊久居駐屯地グラウンドを会場に迫力ある花火が夜空を彩り、市民総踊りで盛り上がる。今年は8月7日（土）。雨天の場合は翌日に順延。

### ◇久居まつり

毎年10月の第4日曜日に開催する「久居まつり」は、市民に親しまれる秋のまつり。二ノ町商店街周辺を会場によさこい踊りやステージ発表、特産品販売など多彩な催しが行われる。前夜祭もあり、楽しい2日間となる。今年は10月23日（土）、24日（日）開催。小雨決行。

### ◇ひさい版仮装大笑

「ひさい版仮装大笑」は、旧久居市で昭和30年頃から長きにわたり、自衛隊員や市民らによって行われてきた「仮装行列」が、平成14年に新しい形でスタートしたので始まり。

今では人気の恒例イベントとなり、アイデア満載の作品は、毎回私たちに驚きや笑い、大きな感動を与えてくれる。

エントリー作品から地方予選を突破し、日本テレビ「欽ちゃん」と香取慎吾の全日本仮装大賞へと出場した作品も多く、全国からの注目も高い。今年は10月24日（日）に開催予定。どんな作品が飛び出すか楽しみである。





◆体も心も癒される

開湯1300余年、神宮参拜の前に身を清める「湯垢離(ゆごり)」の湯として、古来、旅人に愛されてきた同温泉は、伝統を守りつつ、新たな催しも企画。  
 【今後の主なイベント】  
 \*4月3日「桜まつり」桜と菜の花、鯉のぼりの競演が見事。  
 \*6月5日「献湯祭」今年2回目。神宮へ「湯」を奉納。  
 \*6月1日〜7月10日「ぼたる祭り」10回目となる今年は、1ヶ月余りのロングランイベントに。乞うご期待！  
 \*11月中旬「秋の収穫祭」かかしコンクールも好評。



温泉と自然の恵みのもてなしで、癒しのひと時を！  
 お問い合わせは、同温泉振興協会・電話・059(252)0017まで。

◆神原の古代米(赤米)



「枕草子」に「男の片手にいと赤き桶の、本は青きを刈り持ちて」とあることから、清少納言も食したであろう「赤き桶」。「古代米」を、2003年に復活させることになった。  
 「神原の古代米(赤米)」には、肝機能の回復や眼精疲労に効果があるとされるポリフェノールが含まれている。同温泉の各旅館等では、古代米を用いた料

理を考案。米の販売(ベトナム産入り450g)500円も行っている。  
 お問い合わせは、同温泉振興協会・電話・059(252)0017まで。

◆女将の会「糸つむぎ」

同温泉の良さを多くの人に知ってもらいたいと、07年12月、5つの旅館の女将が集まって、設立。名前は、同温泉のシンボルとも言われるシダレザクラ「糸さくら」から取った。  
 毎月、勉強会を開き、各地のイベントにPRに出かけるなど忙しい毎日を送っている。  
 相松邦子代表は「同温泉の窓口となって、情報発信を続けていきたい」とニコリ。



◆足湯(湯の瀬)

06年4月、津市との合併を機に、気軽に利用してもらえる無料のサービスとして設置。以来、多くの利用者でにぎわい、「通ううちに、膝の痛みも治まってきた」、「背中までポカポカになる」という声も。  
 中務肇支配人は「温泉に入るには体調が今ひとつという時に利用できるのも魅力では？」と

話している。  
 10時〜17時営業。火曜定休。  
 お問い合わせは、湯の瀬・電話・059(252)1800まで。



神原温泉案内図



◆ぼたんしゃぶ(清少納言)



昨冬に新登場。湯冷めしにくい同温泉との相乗効果をねらった「あったかメニュー」だが、好評につき、4月までの延長を決めた。  
 一般的な「ぼたん鍋」は、味噌仕立てのコツテリ系で男性に人気だが、同旅館では、さっぱりしたしゃぶしゃぶのため、女性客に喜ばれている。くさみもなく、低カロリーで、美肌効果もあるとすれば、言うことなし。  
 川嶋支配人も「是非一度ご賞味を」と話している。  
 日帰り入浴とセットで5400円。2名様以上で要予約。  
 お問い合わせは、清少納言・電話・059(252)0048まで。

◆スパハウス(白雲荘)

老舗旅館・白雲荘に併設された「スパハウス七栗」は、温泉のほか、砂風呂、岩盤浴、あかすり、温水プール、スポーツジム等を備えた多目的温泉施設。一番人気は岩盤浴(4人まで)で、1時間ほど、じっくりと汗をかき、「体の中からキレイになれる」と喜ばれている。  
 井阪代表は「1日ゆっくり、リフレッシュを」と話す。  
 木曜定休。入浴のみ600円。セット利用がお得！入浴+食事で1000円。さらに+岩盤浴で2000円。  
 お問い合わせは、スパハウス七栗・電話・059(252)1771まで。



◆温泉野菜蒸し(湯元榎原館)

伊賀焼きの土鍋のフタを開けると、県内産の旬の野菜がギッシリ！後乗せの野菜と季節の果物を加えて全10種類。これを温泉でじっくり蒸しあげて、醬(ひしお)、岩戸の天然塩などでいただく。野菜本来の甘みが楽しめるると人気の一品だ。  
 美人の湯で体の外から、温泉野菜蒸しで内からキレイになると、リピーターも多い。和牛の鉄板焼きや土鍋炊き込みご飯もセットされ、大満足間違いなし！  
 昼のレディースプラン(入浴込)5250円。夕席6300円。  
 お問い合わせは、湯元榎原館・電話・059(252)0206まで。



◆うなぎのかす漬け(川八)



鼻をくすぐる良い匂い。口に入れると、ウナギの香ばしさとタレの甘みがほわ〜っと広がり、最後に一味唐辛子がピリツとしめる。同旅館のかす漬けは、「ひつまぶし」同様に3度楽しめる。  
 「日持ちのするお土産物」と考えられたオリジナル商品。白焼きしたウナギを細かく切り、白味噌・酒かすなどを混合したタレに数日漬け込んで完成だ。

「お酒やご飯が止まらなくなる〜」とうれしい悲鳴も！  
 200g入り950円。400g入り1800円。1週間から10日の日持ち。地方発送可。

お問い合わせは、川八・電話・059(252)0221まで。

◆わくわく温泉コーヒー & 赤米パン(河鹿荘)

源泉(冷泉)を沸かしている、まろやかで、飲みやすいコーヒーの名付け親は、俳優・石原良純さん。同温泉は単純アルカリ泉のため無味無臭で、ポリフェノールなどの成分も含まれ、健康にも良いとされている。  
 セットの赤米パンは、「\*手作りパンとお菓子\*ハモニカ」(稲葉町)から仕入れ、同旅館長特製のクリームチーズを添える。  
 まろやかコーヒー、もちもちパンにクリームチーズが合い、ワクワク感が高まると好評だ。  
 コーヒーのみ320円。セット450円。  
 お問い合わせは、河鹿荘・電話・059(252)1515まで。





## ◆藤堂高通

◇伊勢久居藩の初代藩主

藤堂高通は、寛永21年（1644）11月、伊勢津藩2代藩主の藤堂高次の次男として誕生。藤堂高虎の孫にあたる。

寛文9年（1669）9月、伊勢11郡5万石を分与された高通は津藩の支藩として久居藩を立藩。初代藩主・久居藩藤堂家初代となった。「久居」という地名は、高通が「永久に鎮居する」といったことに由来する。

歌道に大変優れ、北村季吟・西山宗因らを招聘し、藩の文学発展に尽力した。元禄10年（1697）8月に死去、享年54歳だった。現在、高通公の記念碑が建つ高通児童公園は市民の憩いの場となっている。



市指定文化財 高通公木像（玉泥寺蔵）

## ◆久居陣屋跡（久居城）



◇新しい発想の進んだ町づくり

初代久居藩主藤堂高通は久居城築城のため、兵学にも精通した都市計画の専門家、植木升安を招いた。升安は、土塀や塀をめぐらせた強固な要塞を設計。しかし、「二国一城令」により許可は降りず、設計は変更され、久居陣屋を築いた。

城内の北と東に武家屋敷、城外に寺を配置。街道沿いには、商人などを住ませた町づくりはその当時、進んだ設計思想が反映された非常に優れたものだった。

久居陣屋跡は今の津市久居西鷹跡町にある久居中学校や高通児童公園辺りである。

## ◆子午（とき）の鐘

◇時を知らせる鐘の音

津市久居幸町にある子午の鐘は元文元年（1736）、久居城下に時間を知らせるために津藩の名師匠、辻種茂（つじたねしげ）によって作られた。

寛永元年（1789）、久居陣屋内から現在の地に移設。その後、太平洋戦争や伊勢湾台風などに遭いながらも危機を乗り越え、今に至る。

現在は、時の記念日の6月10日と大みそかの年2回、鐘打ちが行われ、昔と変わらぬ鐘の音を響かせている。久居市指定文化財。

また子午の鐘のそばには、松尾芭蕉の句碑が建っている。



## ◆林性（りんしょう）寺



◇猫が描かれた珍しい涅槃図（ねはんず）

榊原氏の菩提寺である、津市榊原町の林性寺には、全国でも珍しい猫が描かれた涅槃図がある。日本三幅の一幅。

涅槃図とは、お釈迦さまの入滅（亡くなった）の様子を絵に描いたもの。室町時代の画僧・光殿司（ちようでんす）作といわれ、その大きさは縦3.4メートル、横2.58メートルと大変大きい。絹本着色の涅槃図には三毛猫が描かれ、他ではなかなか見ることができないという。

毎年3月14〜16日の涅槃図開帳には多くの参拝客で境内は賑わうという。津市文化財指定。



## ◆射山（いやま）神社

◇榊原温泉に鎮座する神社

かつて貝石（かいせき）山の8合目に祀られていた射山神社は、天正16年（1588）に現在地の津市榊原町に移されたといわれている。延喜式神名帳（927）に列せられる式内社。

大己貴命（おおなむらのみこと）、少彦名命（すくなひこなのみこと）の祭神を含む19柱の神を祀り、境内には長命水や平成11年（1999）に移された芭蕉翁反古塚などがある。また神社裏手には湯元跡がある。

毎年2月11日には無病息災、家内安全を祈願する伝統行事の「御湯（湯立て神事）」が行われ、多くの参拝客が訪れる。

